

電経新聞

購読料 年間25,200円(税込み)

発行所 株式会社電経新聞社

編集・営業・総務

〒105-0003 東京都港区西新橋

3-4-2 ヤマキ第2ビル

TEL (03) 3437-6600

FAX (03) 3437-6479

発行人 田中悦朗

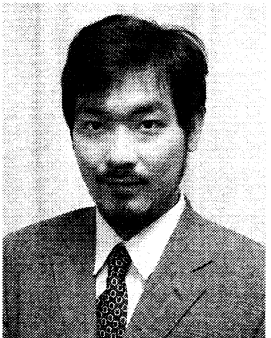
<http://www.denkeishimbun.co.jp>

ネクストマジックが目下開発中の自律分散型の無線通信ネットワーク技術「バブル・メッシュ」は、「絶対に途絶しない無線ネットワーク」を目指している。「強靱な無線ネットワークを数学的に考えた結果泡の形をしたネットワークが非常に優れていることがわかった。そのためこの通信技術をバブル・メッシュと名付けた」と説明する萩原社長は、バブル・メッシュが一般的な無線メッシュとは一線を画した技術であることを強調した。

無線機を数珠つなぎにして遠隔地まで電波を届ける無線メッシュという技術は一般的に1つの経路が確定されると、その経路しか使えなくなる。一方、バブル・メッシュは複数経路を同時に確保する。「そのためどこかが途切れても、別な経路が生きているので、

ITベンチャー 前線動向

ネクストマジック

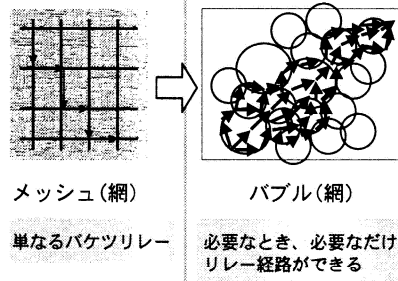


萩原 州社長

バブル・メッシュをライフセーバに

全体の通信を途絶させることはない(萩原社長)。数メートル、数キロ間に多くの無線区間を設け、各区間を無線アクセスポイントで自律的・動的に相互接続するので、いかなる場合においても通信インフラが

バブル・メッシュ概念図



維持できる。そういう意味ではミッションクリチカルなネットワーク構築、防災・防犯用の広域ネットワーク構築に最適な技術だ。「またバブル・メッシュは自律的に複雑なネットワークを構築する点がミソなので、無線メッシュの構築は付け加える。」と萩原社長は期待する。

「1つは無線技術が浸透した領域。具体的には無線LAN市場。例えばNTTドコモがFOMAに無線LAN機能を搭載した。これがトリガーになって、無線IP電話が普及すれば、バブル・メッシュの活用場面が出てくるのではないかと期待する。」と萩原社長は期待する。

ネクストマジック(東京都台東区、萩原州社長、03・5827・1090)が開発中の無線ネットワーク技術「バブル・メッシュ」。オリジナル技術ということもあり、その動向に注目したい。(北島圭)

■ ■

もう1つは同社がメイン市場として狙っている、通信の途絶が許されない「ミッションクリチカルな領域。秋口から営業展開していきたい」と述べる萩原社長は「ターゲット市場は大きくわけて2つある」と続けない。無線は線が切られる心配はないが、従来のネットワーク構造は脆弱だ。「しかしバブル・メッシュであれば緊急災害時でも機能する」と自信を見せる萩原社長。「もともとバブル・メッシュは緊急時・災害時でも確実につながる通信を目指して開発された。ゆくゆくはバブル・メッシュを社会のライフセーバとして定着させたい」との展望を示す。